

## 道の駅「おおさき」がオープン ～世界農業遺産ブランド認証を開始～



7月5日(金)、大崎市中心部の国道108号沿いに宮城県内15箇所目となる道の駅「おおさき」がオープンする。

大崎耕土が育んだ米や野菜などの農産物、酒、みそなど発酵食品の販売コーナーや、ササニシキ系の良食味米『ささ結』などの地元食材を使用したメニューを提供するコミュニティカフェなど、大崎市産の農産物を売り込む。

大崎地域1市4町(大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町)では「大崎地域の持続可能な水田農業を支える『大崎耕土』の伝統的水管理システム」が世界農業遺産として東北で初めて認定されたため、世界農業遺産『大崎耕土』の農産物などのブランド化に取り組んだ。

「豊饒(ほうじょう)の大地『大崎耕土』世界農業遺産ブランド認証」制度は、農業生産が盛んな大崎耕土農産物の知名度向上を目指しており、認証品は道の駅「おおさき」でも買うことができる。

道の駅「おおさき」は世界農業遺産「大崎耕土フィールドミュージアム構想」の地域拠点として、また、鳴子温泉やラムサール登録湿地の蕪栗沼(かぶくりぬま)や化女沼(けじょぬま)など大崎市の魅力を発信する施設として観光にも活躍が期待されている。

